

マヌカハニー

α・オリゴ糖との併用で
抗酸化能が向上

コサナ

シクロケムの関連会社であるコサナ(東京都中央区、〒103-6262・1512)は、ニューシーランド・マヌカヘルス社製マヌカハニーの販売および原料供給・OEM受託を行っている。

最近ではテレビ、雑誌などのメディアでマヌカハニーが頻繁に取り上げられたことで引き合いが好調に増えており、昨年10月には岡山県赤磐市に新たな物流センターを

開設するなど、マヌカハニーの安定供給・在庫確保に努めている状況だ。

マヌカハニーの機能性については、①メチルグリオキサール(MGO)の抗菌作用②シリング酸メチルの抗酸化作用③グルコン酸のビフィズス菌増殖作用④環状アミノ酸プロリンによるコラーゲン産生作用などが確認されてきたが、同社の研究ではシクロケム社が扱うα・オリゴ糖(α-シク

ロデキストリン)と併用することで、その機能性がさらに向上することが分かっている。

同社では、マヌカハニーとα・オリゴ糖を組み合わせたパウダーを

「MAP(マップ)」と定義し、これまでに腸内環境改善作用や抗菌作用の向上を確認してきた。

最近の研究では、マヌカハニーをMAPにすることでシリング酸メ

チルの抗酸化作用が向上すること「グラフ参照」、マウスを用いた試験で脂肪蓄積の抑制作用を発揮することなど、新発見も続々と報告されている。

なお、MAPによる抗酸化能の向上については、今年8月に愛知学院大学で開催される「第34回シクロデキストリンシンポジウム」(主催・シクロデキストリン学会)で発表される予定だ。

同社の寺尾啓二社長は、マヌカハニーとα-シクロデキストリンの出会いを「シンギュラリティ(技術的特異点)」と表現し、今後もMAPの持つ機能性を究明していく。

シリング酸メチル濃度 3.75 mM における DPPH ラジカル消去率

	DPPH ラジカル消去率(%)	SD
シリング酸メチル	2.7	0.41
MAP	31.9	6.18
MGO550	16.0	2.18

